

第 21 回エコ&セーフティ ハイウェイドライブチャレンジ事業計画 第 27 回スーパーマイレჯカーチャレンジ広島

1 事業の趣旨と目的

「スーパーマイレჯカーチャレンジ広島」「エコ&セーフティ ハイウェイドライブチャレンジ」は、安全運転啓蒙活動と、ものづくりの定着を目的として開催し、昨年で通算 26 回となりました。この間、多くの方、チームのご参加とマスコミ等のご紹介を頂くことが出来ました。

本年の大会は 8 月 22 日（土）・23 日（日）の両日に広島県運転免許センターの高速体験コースにて開催したいと思います。少しでも多くの方に体験・ご参加いただけるように夏休みの期間に開催し、従来同様に「第 27 回スーパーマイレჯカーチャレンジ広島」を組み込みます。この大会は県民・市民に広島県運転免許センターの高速体験コースを使つての高速道路安全運転技術の習得と、マイレჯカー記録大会を通し、環境にやさしい手作りエコカーについて学んでもらうことが目的ですが、新たに 従来の超低燃費車両（スーパーマイレჯカー）の競技・製作体験を核とした省エネルギー技術に加え、温室効果ガス削減の重要性を広島県民に広く普及啓発する取り組みに力を入れます。

ここ数年「自動車」の世界では他の産業同様に、環境に対する積極的なアプローチが求められています。また自動車産業では電気自動車やハイブリッドカーなどを中心としていまだかつてない大きな変化が起きています。これらの技術はエコカーとよばれるマイレჯカーの世界から生まれ、実証されている技術が多くあります。それぞれのアイデアは一気に市場に開放されるわけではなく、手作りのエコカーであるマイレჯカーで試行錯誤を繰り返され、技術的に検証されて市場にあらわれることも少なくありません。

実証の現場であるマイレჯカーチャレンジは新たな技術者を生み、育成する場でもあります。広島はものづくりの街でもあり、このマイレჯカーに対して関心をもたれています。技術伝承の意味では卒業等でチームメンバーの顔触れが変わる学生チームにとって大会の意味は大きいと考えていると同時に、教育用コンテンツの制作・公開と情報発信を通じて広島県民に温暖化対策についての意識喚起、啓発を拡げたいと考えています。

今年で 27 回目を迎える「スーパーマイレჯカーチャレンジ」は、当大会で世界記録を持つ広島ファンシーキャロル号がさらに改善を加え 4500 km/L を超える世界記録を目指すなど、世界屈指の大会として認知されているだけでなく、ここ数年参加をいただいているエタノール車やバイオディーゼル車、燃料電池車等々、幅広いエコカーのレギュレーションでの大会を目指しています。

この大会は各レギュレーションをカロリー計算で算定し、ガソリン車での燃費効率での尺度で評価をするユニークな大会です。また厳しい測定方法は全国的にも認知されており、毎回遠方から、正確な記録測定を求めて参加されるチームも加わっています。EV 車種を含め、複数のレギュレーションの車種が、同コースで省エネの記録を算定する方法もさらに徹底し、ルールを確立したいと思います。このことにより広島が「ものづくり」の基盤を持つ都市であるということの認識をより全国にも広げたいと思います。

ものづくりの大きな課題である、環境にやさしい最高の機能を持つ車を、規定のスペックの中、手作りで作り、自らその評価の場であるコンテスト（レース）に関わることによる、「ものづくりの教育」の面における価値は大変大きなものがあります。さらに技術交流、ものづくりの意識の啓蒙を図る目的で、過去から西日本の多くの工業高校チームが参加しているのもそのことを実証していると考えます。

もちろん、どれだけ自動運転化の進む先進的な車であっても、それを充分コントロールする運転者の姿勢が安全な走行の基本にあります。今回も先進の省エネカーを充分な技術力で安全に走行させる記録会を開催し、高陽自動車学校様には教習車で高速コースを走行いただくための安全な運転講習など、ハイウェイでの安全運転の意識向上を目的とした啓蒙事業を開催していただきます。大会を通して一人でも多くの方に安全運転に対する意識をお持ちいただき、より重大事故を減少させる一助にしたいと思います。

「スーパーマイレჯカーチャレンジ広島」は今年で 27 回目の開催となります。1993 年に広島県交通公園、1995 年に広島市交通科学館、その後コロナ期を除く 2025 年まで 25 年広島県運転免許センターの高速体験コースで開催をしてきました。大会は、「厳格な計測」「安全を確保した走路」「様々な車種での競技」「経験の浅いチームから世界的な記録を持つチームまでの参加」「技術交流」「参加者による手作りの運営」と、様々な魅力を持つ大会に成長し、今年度から新たに「温暖化対策普及啓発プログラム」の確立を進めてまいります。

これら、「ものづくり教育」と「安全運転啓蒙」「温暖化対策普及啓発」にテーマをおいている点から、大会委員長には学校法人鶴学園の鶴衛理事長に就任を頂いております。

2 主催

エコ&セーフティ ハイウェイドライブチャレンジ実行委員会

3 後援・協賛（予定を含む）

広島県・広島県教育委員会・広島市教育委員会・NHK 広島放送局・広島工業大学・マツダ

4 内容

(1) 高速道路安全運転啓蒙事業の実施

高速コースを高陽自動車学校のご協力をいただき、体験走行していただきます。

(2) スーパーマイルレჯカーチャレンジ広島 事業の実施

一人乗りの自作自動車でもコースを定められた周回数走行し(約 18 km)、平均時速 25km/h 以上でどれだけ少ない燃料で走行できるかという記録を競います。全国および海外のマイルレჯカーチームに参加を呼びかけます。(大会規則書 SHELL ECOMARATHON に順ずる。燃料消費計測は全重量計測方式を予定。)

(3) マイルレჯカー技術交流会

全国・海外のマイルレჯカーチームの間の技術交流会を開催し、先端の技術等の意見交換や指導の場を作ります。また大学生や高校生等の学生チームへのマイルレჯカー製作の指導・助言の場にいたします。

(4) 温暖化対策普及啓発プログラムを広島県民に広く普及啓発

超低燃費車両(スーパーマイルレჯカー)の競技・製作体験を核として、省エネルギー技術と温室効果ガス削減の重要性を広島県民に広く普及啓発します。

参加者に対して

1. 参加者に対する教育プログラムの実施。省エネルギー設計・軽量化技術・エネルギーマネジメントに関する技術知見の共有を行う。
2. 競技結果を踏まえた振り返り・技術検討セッションを通じた若手技術者の育成

大会参加者以外に対して

1. 大会の映像・写真を含むコンテンツ(競技の様子・技術解説・車両構造等)の制作・公開、および他メディアへの協力を通じた、県内外の学生・技術者・一般市民への普及啓発。
2. 大会中のアナウンスおよび PR 記事・放送を通じたエコドライブの広域啓発、啓発チラシの県内高専・学校等への配布。

本年度の位置づけ

基盤整備の年と位置づけ、超低燃費技術の実演・展示と活動記録の充実に取り組みます。

- 大会の映像・写真記録を教育用コンテンツとして編集し、ウェブサイト・SNS を通じて県内外に公開する。
- 競技の様子、車両構造、技術解説等を含む動画・記事を制作し、学生・技術者・一般市民が省エネルギー技術を学べる教材として活用する。
- 他メディア(新聞・テレビ・オンライン媒体等)への情報提供・取材協力を通じ、県内外への情報発信を強化する。
- 次年度の啓発プログラム本格展開に向けた体制整備・協賛開拓。
- 事業成果の報告書作成

温室効果ガス削減効果を 2,000 kg-CO₂ 換算量と設定しました。

5 コンテスト参加資格

学生・一般チームを対象と致します。

見本となる安全運転を厳守できる事。また大会当日に大会競技規定の車検を通過する車両を準備することができる事と実行委員会で準備するイベント保険への加入を条件と致します。ドライバーは運転免許証保持者もしくは当実行委員会が 8 月 22 日に行うマイルレჯカー・ドライバー認定試験に合格したものとします。尚、参加者以外は参加費無料です。

6 募集方法

過去のスーパーマイルレჯカーチャレンジ参加者を含めてインターネットホームページ等で広報を行います。 <http://www.fc-design.jp/monodukuri/>

7 スケジュール

告知開始 6月中旬

募集受付開始 7月 1日(水曜日)

募集受付締切 7月 31日(金曜日)(当日事務局到着分をもって締切ります)

流行性の感染症の状況等により大会を中止する事があります。

大雨で災害が予想される場合も同様です。その場合は前日の 17:00 までには大会 HP 上に通知致します。

当日スケジュール

8月22日(土)	8:00	ゲートオープン
	9:30	マイルレჯカー車検開始
	10:00	高速コース体験走行開始
	10:30	高速コース体験走行終了
	10:40	競技開始
	16:00	競技終了
23日(日)	8:00	ゲートオープン
	9:00	高速コース体験走行開始

9:30	高速コース体験走行終了
9:40	競技開始
14:30	競技終了・清掃
15:30	表彰式・記録発表 撤収
16:00	解散

8 記録会各賞 最高記録賞

賞状並びに副賞

9 実行委員会役員

大会委員長	鶴 衛	学校法人 鶴学園理事長
実行委員長	鈴木 俊哉	ヒロシマ・ピースセンター 理事
監 事	田上 克彦	高陽自動車学校社長
事務局(会計)	中根 久典	広島大学客員教授
燃料計測長	藤井 俊成	
燃料計測副長	渡部 雅晃	
コース長	森 勝義	
コース副長	藤田 芳生	
車検長	沼田 泰光	
車検副長	渡部 雅晃(兼任)	

10 会場

広島県運転免許センター内 高速体験コース（広島市佐伯区石内南三丁目1番1号）

日曜日は運転免許の更新手続きに来所される方が多いと思われるので、大会運営関係者、記録会参加者は内部の駐車場を極力使用せず、外部の駐車場を使用します。また過去の反省を含め、運営には一層の注意を致します。

11 参加申込み・お問合せ先

エコ&セーフティ ハイウェイドライブチャレンジ 実行委員会事務局 中根久典

広島市東区馬木 1-651-6 モノ作り推進協会（FCデザイン㈱内）

（担当 事務局 中根久典 勤務先 082-554-6124

携帯電話 090-7501-1337 メールアドレス info@fc-design.jp)

